



人生の意味を考える

1、老いてますます輝く

年をとれば人生は萎んでゆくという考えは間違っていると思う。というのは私はすでに60歳半ばですが、今が人生の最盛期のように思えるのです。

男性の場合、死亡平均年齢は80歳を超えています。人生の最盛期がその中間地点の40歳かと思えばけしてそうではない。

確かに50歳を過ぎる辺りから体力が落ちてくるのは確かですが、精神的な高まりはけして下り坂とは思えないのです。

人生のすばらしさや、醍醐味をしっかりと味わえる年齢は、人生の半ばを過ぎた5-60歳くらいの気がするのです。それからが人生の本番であり、老いてますます輝くところに本当の人生の生き方があるように思う。

人生が輝く時期とは、単に経済的なゆとりではなく、世間的な肩書がつくというものでもない。多くの試練を乗り越え、紆余曲折の人生を歩きながら、それに打ち勝ち、喜びも悲しみも、すいもからいも味わいながら人間的に大きく成長し、いわばお花が最盛期の花を咲かせている様なものだと思う。

定年後の人生を地域活動や趣味の活動に捧げ、もちろん自分の為、そして世の為、人の為に役立つ人生に大いに意義があると思う。そうした人生を送る人には「老後」とか「余期」という言葉は似合わない。

ただ会社生活でも、趣味の仲間内でも、老害を晒すという言葉があるように、70歳や80歳を過ぎても、一向に後進に道を譲ろうとせず、いつまでも権力にしがみつくと、困った元気老人がいます。それは非常にみっともない生き方です。

そのような生き方をすれば、過去にどんなに立派な成果を挙げたとしてもすべて台無しになるのです。晩節を汚すような生き方だけは避けなければならない。



2、人間の寿命について

現在は人生 80 年と言われます。90 歳はおろか 100 歳まで生きる人はこれから益々増えるでしょう。文明が発達し、医学が進歩したおかげで、確かに現代人の平均寿命は長くなりました。

この一度きりの人生を悔いのないものにするには、「生」と「死」の両方を時々しっかりと見つめなおす必要があるだろう。生きる事と死ぬことは、人生の表と裏でもある。「生きる事」は、同時に刻々と死んでゆくことに繋がっているのです。

これからの社会では、一人一人が自律して自己責任を果たすことが求められます。自立の精神や自己責任の意識をきちっと持つためには、人生についてのしっかりした見方やとらえ方を確立しておく必要があります。

二度と繰り返すことのない一度っきりの人生を、どのように生きるか考えずに成り行きに任せて、犬や猫の様にその日その時を過ごせばよいと刹那的に生きたなら、充実感の無い干からびた人生を送ることになりはしないだろうか。

人生が終わりになるという時になってからいくら後悔しても遅すぎます。そうならない為には、自分の人生の意味と生き方について、時々今までの人生を振り返りながら、これからどう生きてゆくべきかを気持ちの中で整理すべきだと思う。

私は、数年前に亡くなられたアップル社の創業者、スティーブ・ジョブズ氏が言い残した言葉をととても大切に生きています。その言葉をご紹介します。ください。

『Today is the first day of my last life.』

今日は残された私の人生の初日だ！

今日というこの一日を喰いの無いように思いっきり生きよう。その為には、今日こんなことをやっていて良いのだろうか？ 今やるべき重要な事が他にあるのではないだろうか？

今日が人生の最後の日だと思って、思いっきり今日という日を、一番やるべき事をやって生き抜かねば悔いが残る。これは人生の至言だと思うし、実に重要な事を言い当てていますね。

今あなたが 45 歳ならば、45 年間の人生はもう終わったのです。



《理事長のコーナー&プレゼン最前線 2019年 10月号》

過去は戻らないし死んだようなものです。ということは、あなたの人生は『今日から死ぬまで』なんですよ。

ですから、今日があなたの誕生日です。85歳まで生きるとしたら、あと40年間を人生というわけです。そしてその残りの40年間という『時間』をどう生きるかで、人生は大きく変わります。

時間は人生そのものなのです！

3、なんの為に生きるのか

コンピューターをはじめとした科学機器が発達し、インターネットやYouTubeをはじめとするSNS(ソーシャル・ネットワーク・システム)を使えば、どのような情報も簡単に入手できるようになりました。

しかしこのように便利な社会になったにもかかわらず、多くの人達が生きる意味を見失い、孤独感にさいなまれるようになりました。

こうした状況にあって私達に求められているのは、新ためて「生きる意味」を真剣に問い直してみる事だと思う。そのことなしには、無気力・無感動・無目的という袋小路から抜け出す出口が見つからない様な気がするのです。

現在、多くの人達が心の癒しを求めています。すなわち、人生の意味、なんの為に生きるのかを真剣に自問自答する努力なしには、心からの真の納得はできない様な気がします。

混乱と混沌が渦巻く先行きが不透明な社会にあって、一度っきりの自分の人生を悔いなきものにするには、きちっとした人生観を持つ事が大切です。

このかけがいのない人生を最後まで精いっぱい生きてゆきたいと願うものとして、「我が人生」についての思いや考えを飾ることなく素直に書いてみたいと思う。

以上

次回は11月15日号になります。